

9/12 洗足学園音楽大学マスタークラス

9/12(水曜日)元ベルギー放送交響楽団首席奏者で現在モンス王立音楽院名誉教授のマーク・グローウェルズ先生に今年もマスタークラスをお願い致しました。

出来るだけ多くの学生に受けてもらいたいという思いから1人30分という短い時間を設定して、学年、レベルを問わず先着順で受け付けました。

グローウェルズ先生の音楽はどの学生もショックを受けるくらい刺激的なもので音色、表現力、音楽の解釈、アイデア等今までに経験の無い事が次から次へと目の前で展開され音楽というものをもう一度考え直そうという気にすくなりました。

また、お昼休みにはレッスン室で聴講していた約20名の生徒のためにCPE バッハの無伴奏ソナタを演奏して下さり何とも言えないエネルギーに満たされた幸せで贅沢な時間を過ごす事ができました。2日後私はグローウェルズ先生との演奏会があり、そのリハーサルやマスタークラスで計4日ご一緒させて頂きましたが先生の人柄に触れ音楽というのは技術以上に人間性が大切なのだという事を心の底から感じさせられました。洗足学園音楽大学でのマスタークラス終了後先生との会話の中、学生達の演奏から1人1人の心を感じとっていた先生の話聞き人を感動させる演奏には人としての哲学というか表面ではごまかせない人間性という何かものすごい力が存在しそのパワーによりはじめて人々に感動を与える事ができるのだという事も肌で感じた貴重な経験となりました。

私の出会った素晴らしい音楽家は例外なく人格者です。自分の真は確り持ちながらも人の気持ちに寄り添えるそんな方達ばかりですが人々の心を動かす事ができる人にとっては当然の事なのかもしれません。

分かりやすい言葉で通訳してくださったフルーティストの榎原敬幸さんにもお礼お申し上げます。



洗足学園音楽大学
フルート教授・佐藤大祐